

CDP「サプライヤー・エンゲージメント評価」において 最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に2年連続で選定

株式会社ワコールホールディングス（本社：京都府京都市、社長：安原弘展、以下当社）は、国際環境非営利団体である CDP[®]が実施する「サプライヤー・エンゲージメント評価」において、最高評価の「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に2年連続で選定されました。

CDP の「サプライヤー・エンゲージメント評価」は、企業が気候変動課題に対してどのように効果的にサプライヤーと協働しているかを評価するものであり、CDP による気候変動に関する調査のうち、4つの主要分野の質問（ガバナンス・目標・Scope3 排出量管理・サプライヤーエンゲージメント）への回答に基づき評価が行われます。2022年度は、CDP 気候変動質問書（完全版）に回答した企業のうち、上位8%が「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定されました。なお、2022年度 CDP 気候変動質問書への回答から、当社グループは「Bリスト」に選定されています。

当社グループは、「地球環境を守ることは企業の責務である」との認識に立ち、設計から材料開発、そして生産・物流・販売までのサプライチェーンにおけるさまざまな工程で、環境に配慮した事業活動を行っています。また、2021年10月には、気候変動課題の解決と脱炭素社会の実現に向けた取り組みを進めるため、2030年に向けた独自の環境活動の目標を設定しています。（ワコールグループ環境目標：<https://www.wacoalholdings.jp/sustainability/environment/target/>）

2年連続で「サプライヤー・エンゲージメント・リーダー」に選定された理由は、これらの取り組みに加え、「長くご愛用いただける」商品の提供を通じて、お客様のサステナブルな消費活動に貢献する取り組みが高く評価された結果と認識しています。引き続き、消費者に長く愛していただける“ものづくり”と、環境保全に配慮した事業活動をステークホルダーと共に推進していきます。



※CDPについて

環境問題に高い関心を持つ世界の機関投資家や企業・団体の要請に基づき、企業や自治体に対し気候変動対策、水資源保護、森林保全などに関する情報開示を求め、投資家、企業、国家、地域、都市が自らの環境影響を管理するためのグローバルな情報開示システムを運営する非営利団体。<https://japan.cdp.net/>

【お問い合わせ先】

株式会社ワコールホールディングス コーポレートコミュニケーション部（担当：小松原、谷、山本）
TEL：075-682-1028 FAX：075-682-1138